

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会 報告書

2022年3月

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会

須坂市議会

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会 報告書

目 次

はじめに	1
1 市議会議員に立候補しやすい環境づくりについて	2
(1) 議員の政策提言、人材育成につなげていくような制度の構築	
(2) 女性が立候補しやすい環境の整備	
(3) 議員の社会保険・厚生年金への加入	
(4) 兼職（会社員との兼業）、夜間・休日議会の開催	
2 市議会に対する市民の関心を高める方策について	3
(1) 広報等の充実	
(2) 研修会、講演会の充実及び公開実施	
(3) 市民との意見交換会の実施	
3 その他市議会議員選挙の諸課題等について	5
(1) 議員報酬、定数について	
(2) 選挙にかかる経費の低減策	
(3) 公職選挙法、地方自治法上の課題、その他	
【資 料】	6

はじめに

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会は、2019年（平成31年）1月27日告示の須坂市議会議員選挙が市制施行以来初めて無投票となったことを受けて、

- (1) 市議会議員に立候補しやすい環境づくりについて
- (2) 市議会に対する市民の関心を高める方策について
- (3) その他市議会議員選挙の諸課題等について

の付議事項を調査研究することを目的として同年3月に設置されました。

大規模な市民アンケートを実施し、その検討を基に2021年1月に中間答申を提出、さらに、委員改選をはさんで、区長会役員との意見交換会やデータの検証など更なる調査研究等を重ねてまいりました。

この間、令和元年東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症への対応、また、ペーパーレス会議システムの導入など、当市議会においても前例や経験のない新たな事態に直面し、その中で多くの新しい取組が試みられています。

当委員会においても自由闊達な議論が行われ、一定の結論や方向性を出すことにこだわらず、委員から出された様々な意見を幅広く検討した結果を別添のとおり報告書としてとりまとめました。持続可能で個性豊かな須坂市の未来に向けて、適切な取組が行われますことを期待いたします。

1 市議会議員に立候補しやすい環境づくりについて

(1) 議員の政策提言、人材育成につなげていくような制度の構築

議会は多様な市民の意見を集約し政策に反映することが期待されています。

市民アンケートで、「今の市議会議員に望むことはありますか。」との設問（複数回答可）に、「市及び市民の利益となるような政策の提言」を全回答者の6割が挙げましたが、「議員が市民の代表として市政に市民の声を反映していると思いますか。」との設問には、「わからない」と答えた方が全回答者の50%、「反映していないと思う」と答えた方が28%でした。

市議会議員選挙の投票率は、ここ30年間でほぼ半減し、議会への関心と投票率の低下とともに、地域推薦が少なくなり身近に市議会議員がいないという地区も増え、核家族化や地域社会のつながりの希薄化が進む中、推薦母体がなく立候補を躊躇する懸念が指摘されました。

加えて、近年、議会への請願、陳情件数が減少し、ほとんどの陳情は区長や団体等を通じて直接市長へ出されている状況となっています。

具体的な取組として、他市町村議会で取り組まれているサポーター制度のように議会から政策を提言し実現を図る過程に市民に関わってもらい、それを通じて人材育成を図ることについては、必要とする意見と、効果が限定的であり自らが努力すべきとの意見に分かれました。

当面は、議員個々の活動や開かれた議会への取組を継続していくことが考えられます。

(2) 女性が立候補しやすい環境の整備

当市では2011年の市議会議員一般選挙で女性5人が立候補し3人が当選しましたが、男性に比べ女性の立候補者、議員が少ない状況が続いています。

家庭生活と両立しやすい会議規則の改正など、やる気のある方が立候補し議員活動をしやすい制度面での環境整備は更に進める必要があります。

一方で、地域や団体、家族、有権者がそれぞれの課題解決のため、男女関係なく市議会議員に送り出そうとする意識を持っていただくことがまず必要であり、そのためのフォーラム・講演会の開催も有用な方策の一つです。

(3) 議員の社会保険・厚生年金への加入

社会保険、厚生年金の加入が必要とする意見と、公費負担もあることから不要とする意見があり、一致には至りませんでした。

しかし、平成23年に地方議会議員年金制度が廃止された際に、新たな年金制度について検討を行う旨の付帯決議が衆・参両議院の総務委員会において全会派一致で可決された経過があり、全国市議会議長会では厚生年金への地方議会議員の加入を求める取組を行っています。

よって、年金受給世代だけでなく、若い世代やサラリーマン層からも立候補しやすいようにする環境整備の一つとして、当市においても引き続き国に検討を求める意見書を提出することを検討されたい。

(4) 兼職（会社員との兼業）、夜間・休日議会の開催

かつて市議会議員立候補者の半数以上を占めていた農業者の候補者や支援者が減少したことは、今日の須坂市の議員なり手不足の大きな要因となっています。

就業者に占めるサラリーマンの割合が多くなるとともに、立候補あるいは議員活動に伴う企業等による休暇、休職の保障など、多様な人材が立候補しやすい、多様な働き方のできる環境づくりを国に求めていくことを検討されたい。

なお、定職を持ちながら議員活動との両立を図る方法として、災害時やコロナ禍における会議のオンライン開催などデジタル化の更なる推進が期待されますが、夜間・休日議会の開催については、費用対効果や職員負担の面からも現実的ではないとの意見が多く出されました。

2 市議会に対する市民の関心を高める方策について

(1) 広報等の充実

議会のSNS（公式フェイスブック、ツイッター）を活用した情報発信については、中間答申を受けて、定例会の会期、一般質問通告、審議結果、議会報の発行、公式行事活動報告について2021年6月から開始しました。議会や議員の活動に関する情報をオープンにすることは市民参画にもつながることから、更なる情報発信を推進されたい。

一方で、議員個々のSNSを活用した情報発信については、各議員で対応すべきとする意見がほとんどでした。しかし、議員個人のプロフィール、公約、主張などをより多くの市民に知っていただくことは、議会、議員活動への理解を深め、活性化するための重要な要素です。公職選挙法では無投票当選となると選挙公報の発行が中止となることから、議会として公約等の市民への周知を検討されたい。

また、中間答申を受けて、市議会報「こんにちは須坂市議会です」への「議会豆知識」の掲載を2021年8月から開始しましたが、市民に関心を持っていただききっかけづくりとして、市議会報への感想、意見を伺うモニター制度の導入を検討されたい。

(2) 研修会、講演会の充実及び公開実施

議員の資質向上を図り、問題意識を共有するため、研修会、講演会への参加は重要であり、また議員からの要望も高いことから、コロナ禍で従来とは違う開催方式への対応を含め、更なる充実を図られたい。

また、議会主催の講演会等を市民に公開することは、市民との問題意識の共有を図り、議会への関心を高める上で有用な方策の一つであることから、実施を検討されたい。

(3) 市民との意見交換会の実施

市民アンケートでは、「議員に自分の意見や要望を伝えていますか。」との問い合わせに対し、「伝えていない」との回答が84%で、その理由（複数回答可）として「伝える手段が分からない」を全回答者の46%が挙げました。

須坂市議会では、2005年度（平成17年度）（試行）から2014年度（平成26年度）まで行政視察報告会を開催しましたが、参加者が毎回同じ顔ぶれになってしまうとの指摘がありました。

区長会役員との意見交換会を行い、改めて確認できたことは、市民と問題意識を共有し、要望を的確に政策に反映するためには市民との対話が欠かせないということです。計画的に年間あるいは複数年でスケジュールを決め、委員会ごとに各種団体と、あるいは地区ごとに議題やテーマを決めてブロック区長会と開催するといった形で市民との意見交換を積極的に実施することを検討されたい。

3 その他市議会議員選挙の諸課題等について

(1) 議員報酬、定数について

議員のなり手不足解消の観点から、若い人の生活が保障できる報酬に増額すべきという意見が多く出されました。現状では全国類似人口都市との比較でほぼ平均的な報酬額、定数となっていることや、現下の経済情勢等から引き上げに市民理解を得られるのかといった意見や、専業と兼業では考え方の違いもあり、当委員会においてはそれ以上の検討には至りませんでした。

議員定数については現行のままとする意見が多数でしたが、減らすべきあるいは増やすという意見もありました。無投票を防ぐための定数削減が、なり手不足解消につながらないことから、結論には至りませんでした。

(2) 選挙にかかる経費の低減策

選挙運動用自動車使用料、ポスター・ビラ作成費などが公費負担とされていますが、公費負担の更なる増額を求める意見がある一方で、個々の判断を尊重する意見や、お金をかけずに選挙はできる、ガイドラインを示すなどの意見もありました。

また、選挙運動用自動車（選挙カー）の活用について自主規制による時間短縮などの意見もありましたが、法律で認められていることを規制することはいかがかとの意見も出されました。

それぞれ、候補者が節度を持って、法律の範囲内で工夫しながら自主的に対応すべき課題と考えます。

(3) 公職選挙法、地方自治法上の課題、その他

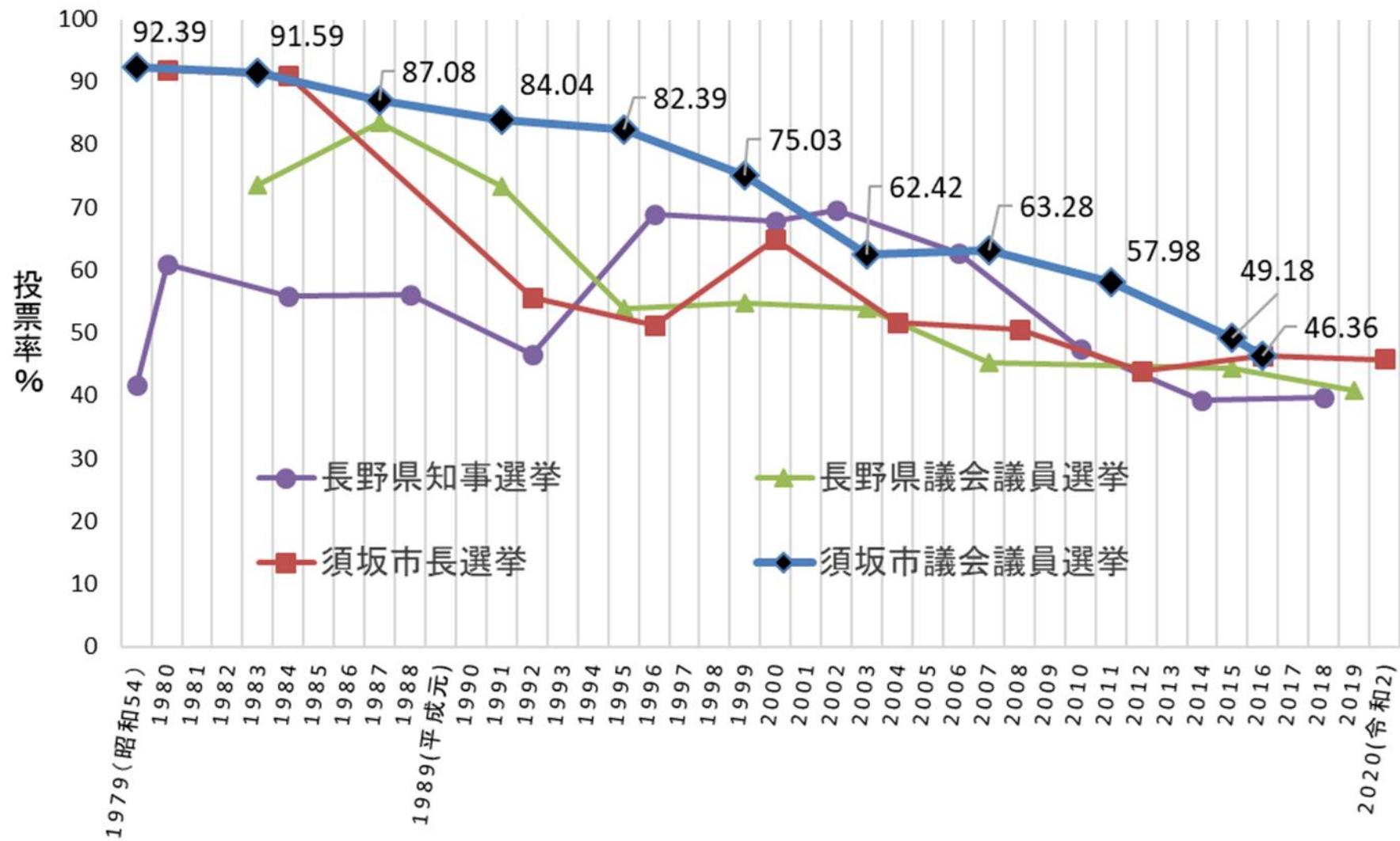
改選時期の2月は寒中であり選挙運動に支障が多いことから、公職選挙法を改正し全国の地方選挙時期を集約する動きや、兼業規制など地方自治法改正の動きに留意する必要があります。

また、公職選挙法に関して、選挙費用はいくらかかるのか、どうやったら選挙に出られるのかとかといった疑問や不安が立候補をためらわせる一因であり、そういう疑問に明確に答えられるような選挙制度の改善を機会を捉えて求められたい。

【資料】

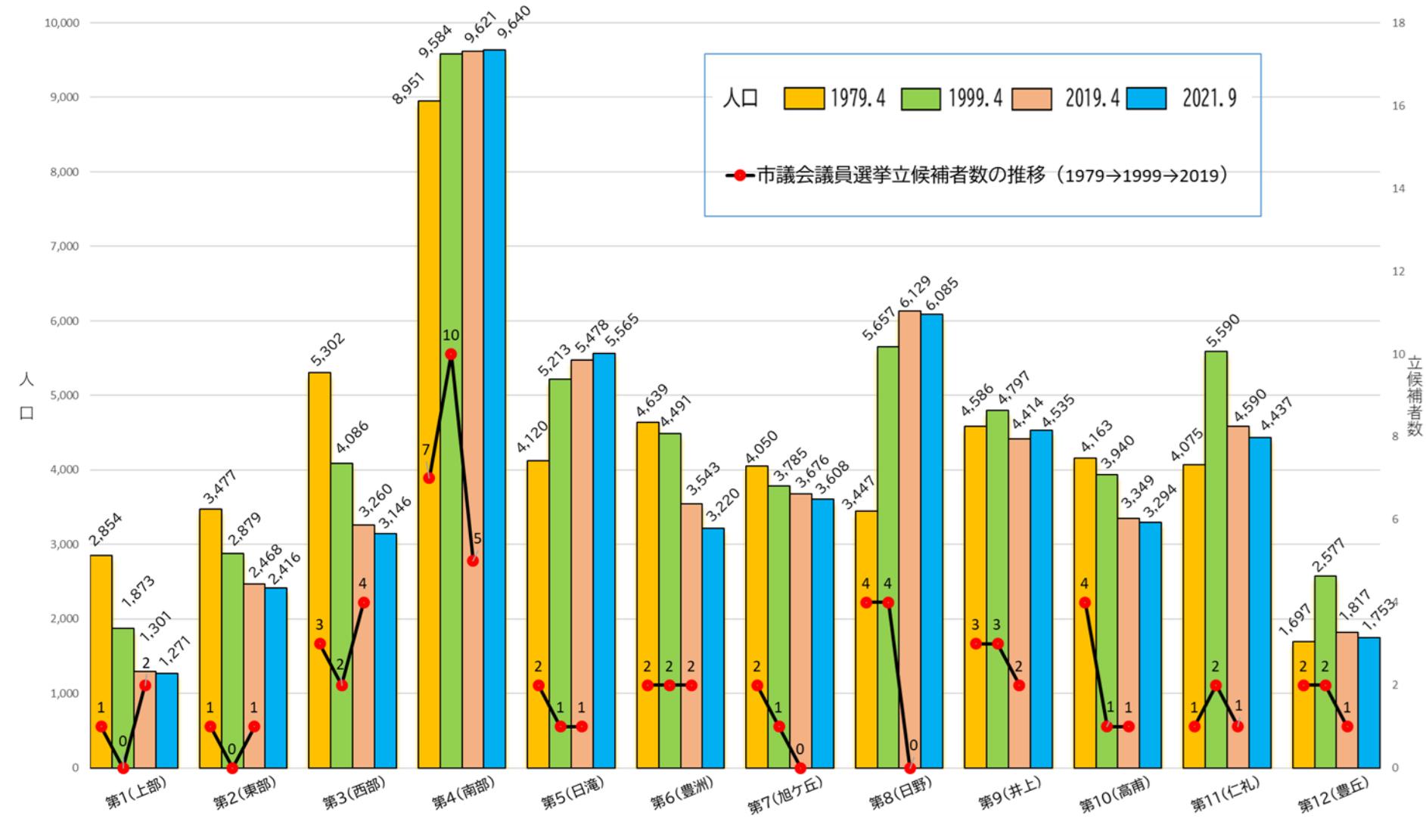
分析資料	7
区長会役員との意見交換会(概要)	15
須坂市議会に関する市民アンケート調査結果 (2019年11月・選択回答部分)	19
検討経過	27
委員名	29

須坂市議会議員選挙投票率の推移

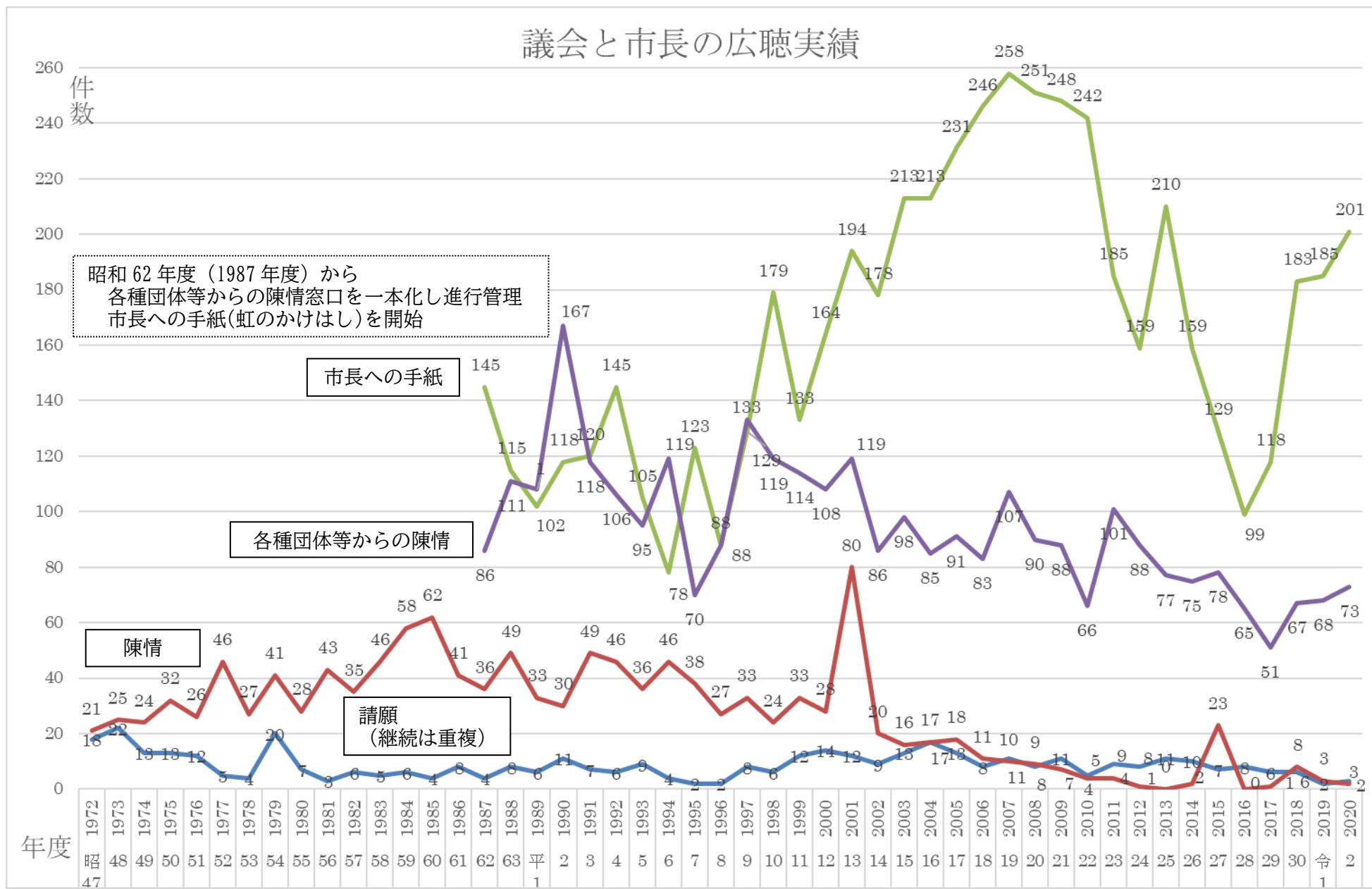


須坂市ブロック別人口と立候補者数の推移

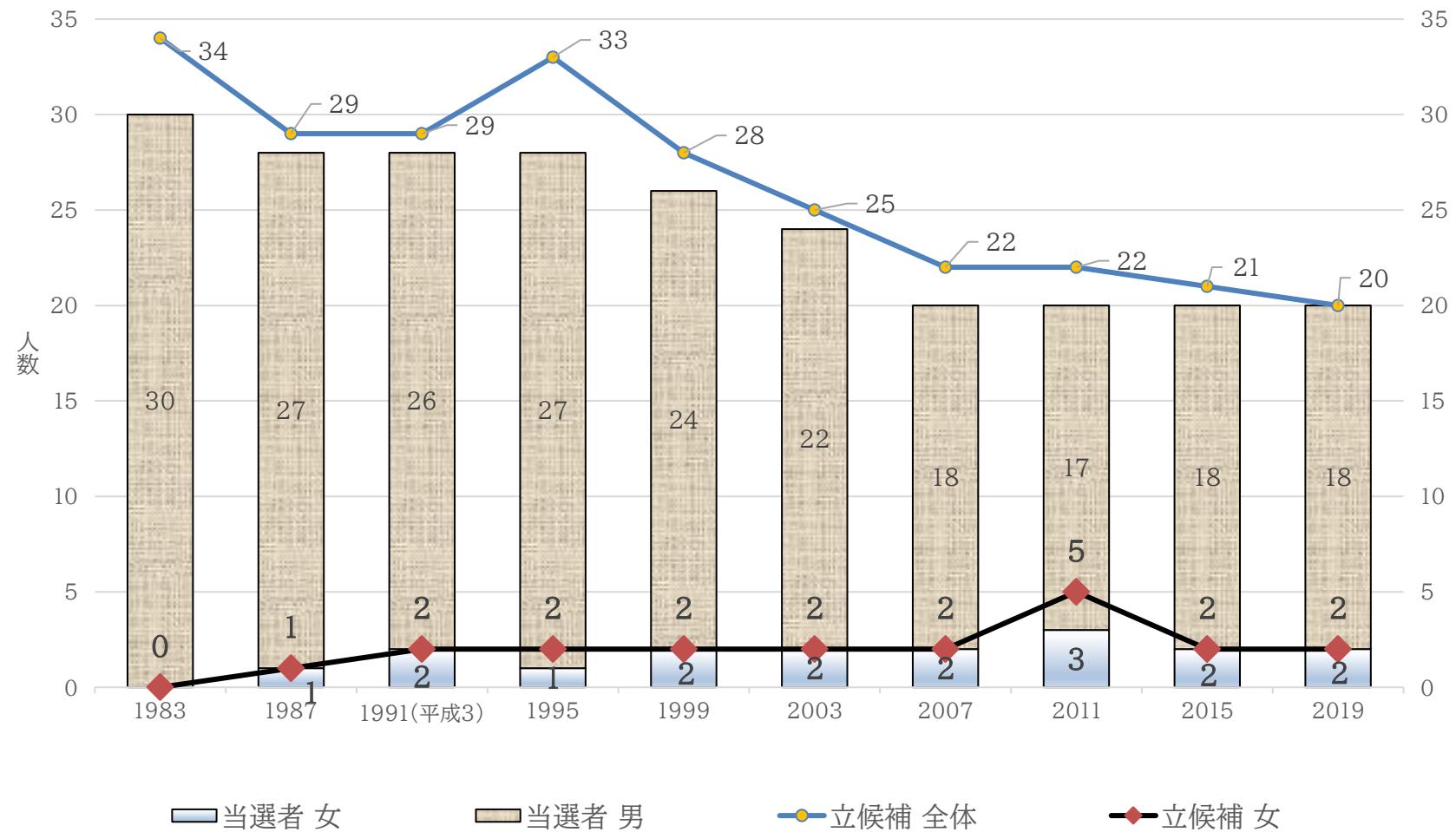
1979年(S54)→1999年(H11)→2019年(H31)



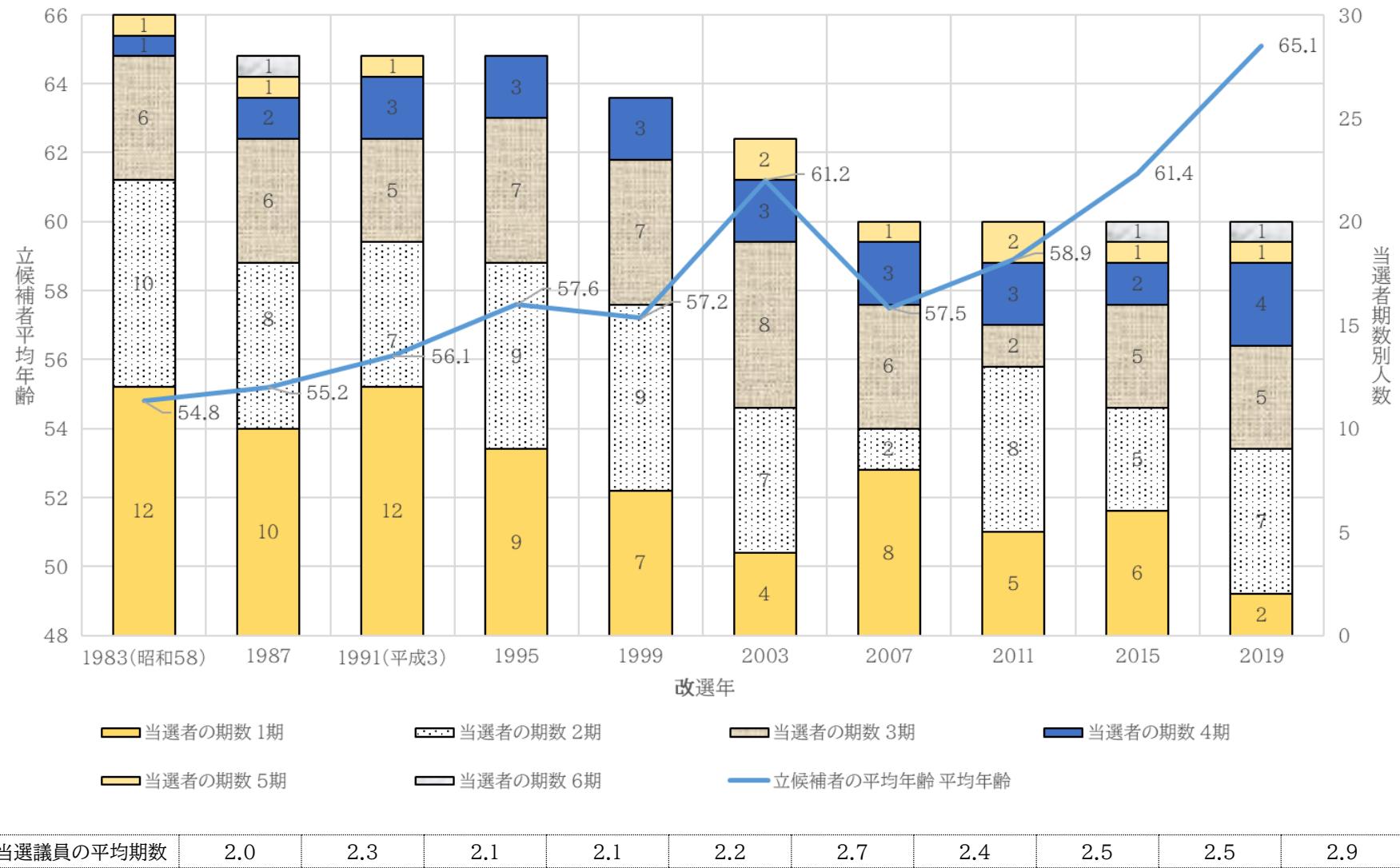
議会と市長の広聴実績



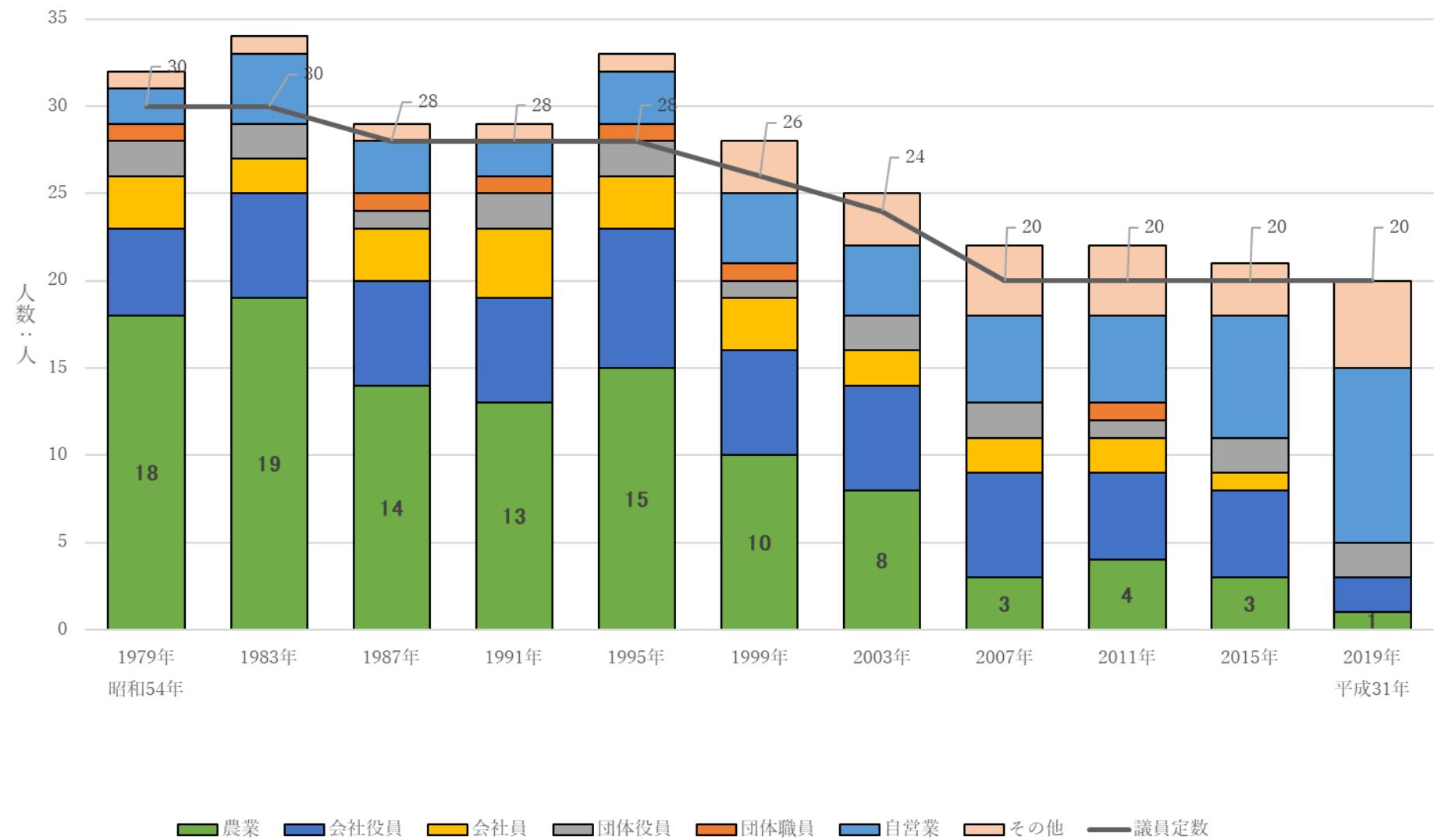
須坂市議会議員一般選挙立候補者・当選者に占める女性の割合



立候補者の平均年齢と当選者の期数

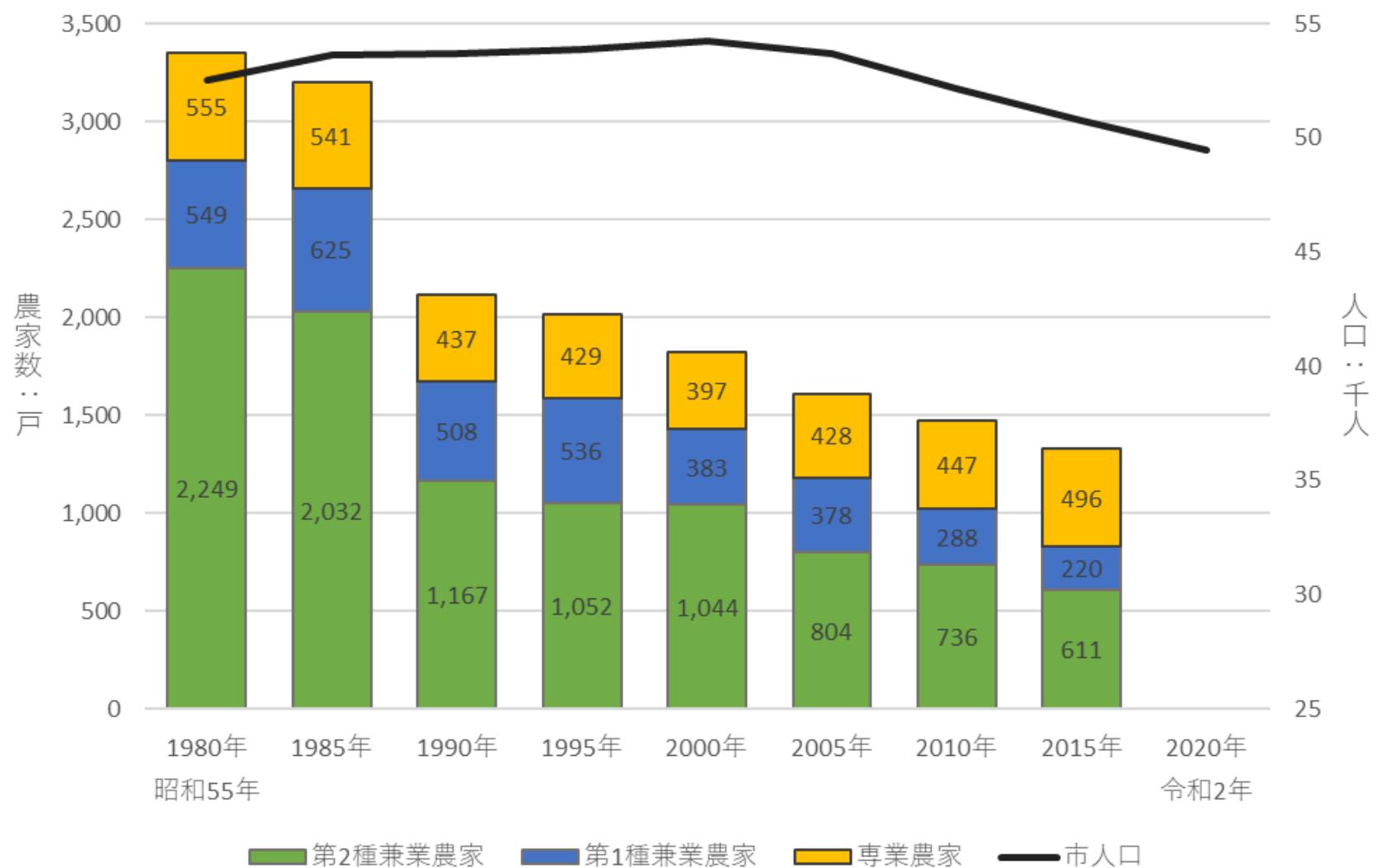


市議会議員一般選挙候補者における農業者数の推移



須坂市の専兼業別農家数の推移【販売農家】

(農業センサス)



須坂市議会議員定数、報酬額の推移

【1 議員定数】

適用任期初日	定数 (人)
昭和 50. 2. 11	30
昭和 62. 2. 11	28
平成 11. 2. 11	26
平成 15. 2. 11	24
平成 19. 2. 11	20

【2 議員報酬額】

適用年月日	報酬月額 (円)
昭和 50. 6. 1	100,000
昭和 61. 4. 1	244,000
昭和 62. 6. 1	250,000
昭和 63. 4. 1	259,000
平成元. 4. 1	272,000
平成2. 4. 1	288,000
平成3. 4. 1	306,000
平成4. 4. 1	321,000
平成5. 7. 1	334,000
平成8. 4. 1	340,000
平成9. 4. 1	348,000
平成10. 4. 1	355,000
令和元. 10. 1	358,700

【(参考) 全国類似人口都市との比較】

	人口 (人)	条例定数 (人)	議員報酬月額 (円)	議員報酬年額 (千円)
須坂市	50,340	20	358,700	5,986
85市平均	49,815	18.7	352,566	5,753

※全国市議会議長会調査（令和3年6、8月）から、人口45,000人～55,000人の85市を抽出

出。調査時点は令和2年12月31日現在。報酬年額は調査を基に事務局で試算。

須坂市区長会役員・市議会議員選挙の課題等検討特別委員会 意見交換会記録（概要版）

1 開閉日時 2021年10月6日（水） 午後 6 時 30 分 開議
午後 7 時 58 分 散会

2 場所 議会第4委員会室

3 出席者

【須坂市議会】 委員 9名、議長、委員外議員 2名

【須坂市区長会】 役員 15名

4 意見交換項目

「市議会議員に立候補しやすい環境づくり」

「市議会に対する市民の関心を高める方策」など

5 区長会役員から出された意見の抜粋

≪A区長≫

ア 選挙にならない方が議員さんにとっては選挙しなくて済むはずが、できるだけ立候補を立てて議会を活性化しようとされているのは確かに議員がやるのはおかしいな、と聞いていてそう思いました。

イ 報酬を上げればというのは、正直、市民の関心がない中で通らないと思う。下げる、何で上げるんだというようなことにつながってしまうと思う。

ウ 報酬を上げる前に、もっと議員活動しやすくするために補助のお金、報酬とは別に活動費というものが、そういった手当があればもっと活動しやすくなって市民と触れる機会が増えるのではないかという気がします。報酬さえ上げれば立候補する人が増えるのかというと正直疑問です。

エ 議員さんは大変でしょうが形を変えて区長以外ともこういった会を設けて、顔と顔を合わせて指名されると意見はこうして出てくるので、大変ですけど地道な活動をしていただいて、市民が少しでもこっちを向くように。

オ 私も区長になって市議会報を見るようになりました。大変見やすくカラーで立派だと思っています。

カ 会社でもうまくいくためにはヒト・モノ・カネなのです。あなた立候補しなさいと言つても無理だと思うので、こういった方がいいのではないかというアドバイスみたいなものも。一般の人ではいい人だと思っても擁立までは絶対できないと思う。

≪B区長≫

ア 政務活動費については、正直、月額1万5,000円という金額で果たしてよいのだろうかと。十分ではないだろうという意味なのですけれど。皆様使い切るのを御遠慮なさったり

御自分のお金を使われたりなさっているのではないかとちょっと心配の念を持つのですけれど。

イ 報酬にしても長野市を例外とすると、ほかの市町村はあまりきちんと出ていないなと思っているのですけれど。

«C区長»

ア 市議会議員に限らず我々町の役員でもなかなかやり手がない。公共のことについて自ら手を挙げてということはなかなかなくて、現役の人が辞めて次の人にお願いするのですが、何回も頭を下げてやっと間に合うというのが現実です。それだけ地域の中にも公共に対して、私がやってやろうというものが少ないと思います。

イ 私、町からいろいろ要望を受けて市の方へ要請しているのですが、70パーセントくらいは要望が通るのですが、中には要望しても頭から、お金がありません、あるいは、やっても駄目ですと縮こまっている。それが市役所の環境だと思う。

ウ 市議会の最初の日に後ろで見させてもらったのですが、第1番目の人だったか市長さんと議員さんでいろいろやり取りしていたのですけれど、第三者から見れば何を言っているのかわからないのですよ。皆が話を一つに共有してそれに対していろいろ意見を言うならいいけれど、何か市長と二人でやっているだけの印象を受けました。もっと市民に分かるような議会をやってもらいたいなということです。

«D区長»

ア 先ほどの議員の質問の関係は私のブロックの話です。私も初めて傍聴したのですけれど、私は地元の件で大変よくわかっているので、本当に議員さんよく質問してもらったと思っています。初めて傍聴して、実はあんなに活発に意見を言うのではない、もっとおとなしいと思っていたので、あれだけやってもらって議員さん本当によくやっているなと思いました。その点ではありがとうございましたと議員さんに言いたいと思います。

イ 須坂市は投票率が50パーセントいかないのだよね。議員さんも当選してもさみしいと思う。9月26日に高山村村議選があって、12年間無投票だったのが立候補が3人オーバーして選挙をやったのだけれども、何か理由あるのではないかと思うので聞いてみればいい。それでも投票率は66パーセント程でしょう。投票率が低いということは皆さん関心がないのか。私は関心がなくても投票には行くので不思議に感じている。

«E区長»

ア 議会を土日に開くことについて議員さんの中でどのような意見があるのかお聞きしたい。というのは、今は定年になってもまだ勤めている人が多い。市関係者も議員も大変だとは思いますが、年4回のうち1回くらいは土日にやりますので、市民の皆さんもぜひ市議会に対して御理解をお願いというようなことも提案としてやってもらったらどうか。

« F 区長 »

ア 初めて市議会を傍聴したのですが、傍聴する人がほとんどいない。どういう制限があるのか、誰でも傍聴できるのか。区長になって初めていろいろな配付物を見るようになりました。市議会に关心が持てる何かがあればよいのですが。

« G 区長 »

ア 町の役員も区政をつかさどる大事な役職ではあるし、市議会議員の皆さんも市政に携わっておられるということで共通点はあるのですが、私の主観だと若干ニュアンスが違うと思うのです。市議会議員の皆さんには自ら市の現状をこう変えたいとか将来こうしたいとかいうビジョンを持っておられる方が立候補されるというものではないかなと思う。それに対して区の役員は正にボランティア的なところがあって、できればやりたくない、それを無理やりお願いしますと。で、仕方なくやるというようなスタンスから考えると、若干そこら辺でニュアンスが違ってくるのかなという気がします。

イ 今、現在 19 名の議員さんがおられて、実際、議員さん以外のお仕事を持つておられる方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。そういう方でもできるような体制に今以上に持っていく、そういう環境づくりも必要なのではないかと思っています。区でも選ぶに当たってお勤めの方を選ばざるを得ない状況です。今、65 歳定年になっていますけれども、それ以上働く方も多くいらっしゃいますし、職を持っているから私はできないというのも町の中では通用しない状況になっていますので、そういう意味からすれば、市政の方も職を持っておられても議員活動が十分にできるような環境づくりが重要なのではないかなど思いました。

« H 区長 »

ア 私も議会を傍聴させていただいて、国会でもよくやっている大臣と野党のやり合いのような感じで、市議会も頑張っているんだなと思ったと同時に、市民の皆さんのが要望を市長以下皆さん一体となって、市民のために御尽力願えればありがたいなということを強く感じました。バトルとかやり合いだけでちょっと悲しい思いをしたというのが私の正直な気持ちです。

イ 私ども庶民から見ると国会議員、県会議員、市会議員の皆さんは雲の上の存在というようななとても偉い人と思っています。特にこれまで名譽職であったわけですが、最近、国民意識の変化で雲の上の人という考え方がなくなってきたという感じはします。

« I 区長 »

ア かなりいろいろな内容がアンケート結果に出ている。次回の 2023 年の選挙までにどういうふうに実行するのか。これだけ貴重な意見があって問題点ははっきりしているのではないかと思うのです。今日配られた資料ではタイムスケジュールとかいつまでにどうするとか、やる気がないとか、これはやった方がいいとか、そういうものがないのです。この貴重な情報を有効に使ってしっかり実行の方向にしていただきたいなと思います。

イ ICT の活用ですが、SNS とかフェイスブックとかありますけれど、私自身は見ていないのです。じゃあどこで情報を流すかというと、市議会報とかいろいろあるのですよ。私もできるだけ読むようにしているのですが、全部読むには時間がないときもあるし、エキスを抜粋してもらったら助かるなと思うのです。何がポイントなのかということをもうちょっと簡単な内容に。

ウ 書面、紙で来ると ICT を活用してやるのといろいろやることははあると思うのですが、その辺を、じゃあ誰が読むのか、誰が見るのは、どういう人がいるのか、そういうところで、100 パーセントは見てないですからその辺を勘案した内容を考えていただけたらという提案です。

« J 区長 »

ア アンケートの中で市議会のホームページを見てる方、SNS を利用している方が非常に少ないということなのですが、今、世の中はここでほとんど情報を得ているのではないかと思うのです。世の中全体から見ると恐らく SNS から情報を得ている方がほとんどではないかと思うのです。若い人は特に。私より若い人は皆そうだと思うのです。ここが増えない限り情報発信をしても届かないのじゃないかと思うのです。そういう若い方、30 代、40 代、50 代の方が議員になろうというふうに思うにはやはり兼職の問題もありますよね。

イ ケーブルテレビもいいのですが、ケーブルテレビで議会中継を見るのは恐らくかなり高齢の方なのではないかと思うのです。ですからこの SNS の辺りをもうちょっと強化されなければ、私もこの会に出て初めていろいろな問題意識を持ちましたし、18 歳の子を集めてとか、そういうことをやっていったらいかがかなというふうに素人ながら感想を持ちました。

« K 区長 »

ア 投票年齢が 18 歳に下がったということもあって、中高生、若い世代の人たちにも議会の中身を知ってもらわないと、だんだんなり手がないということになれば、高齢化が進んできて弱体化てきて市民サービスへの影響も出てくるのではないかと思って危惧しているのです。中高生の方々に何とか興味ある施策を取っていかないと、先が難しいかなと思っています。

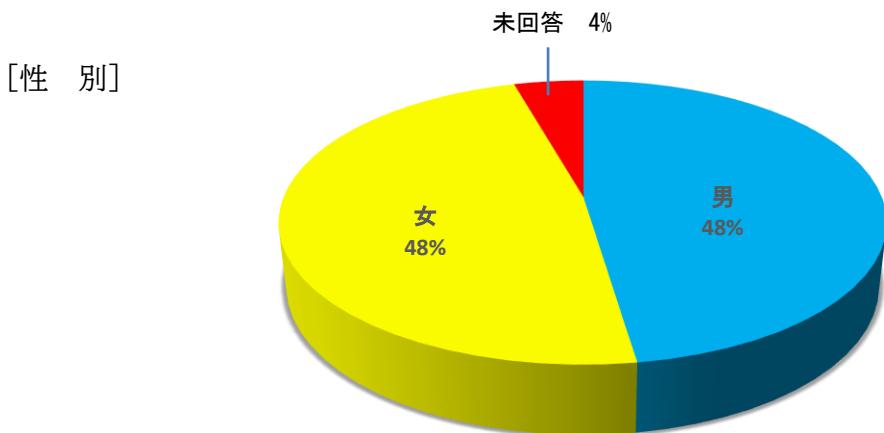
イ 投票率がかなり下がってきてているのですけれど、これから 60 歳以上でもほとんど仕事していて忙しい方が多くて、インターネット投票のようなものを取り入れていかないと投票率も上がってこないのかなと思っています。

ウ 議員定数を減らすということは、一見、行政改革で少なくすればいいんじゃないかというふうに思われる方もいると思うんだけど、私は少なくしたことによって市民サービスが低下するということを非常に心配しています。定数削減については残された議員さんの負担もかなり大きくなると思うので、かなり慎重に考えなければいけないと思っているところです。

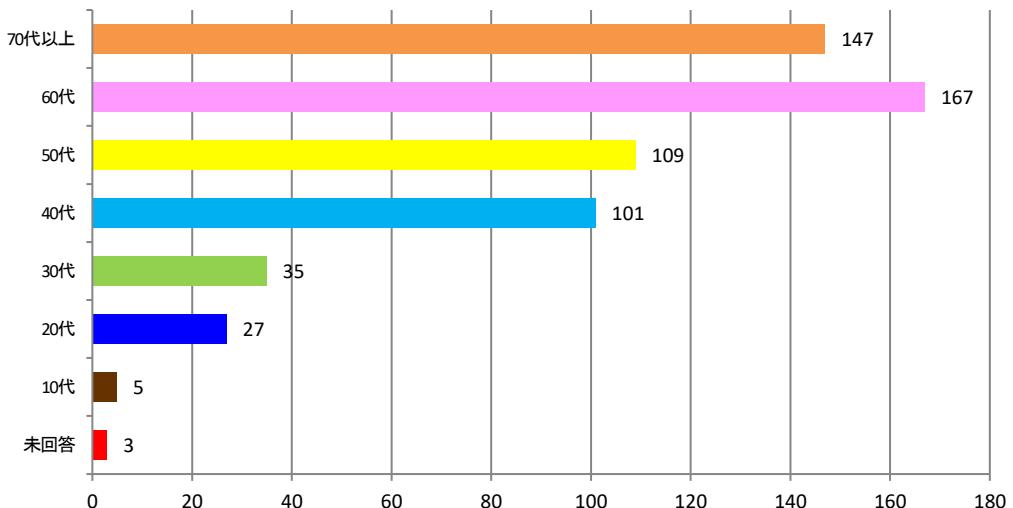
令和元年(2019年)11月 須坂市議会に関する市民アンケート調査結果

設問1 回答者の性別及び年齢

※選択回答部分のみ掲載

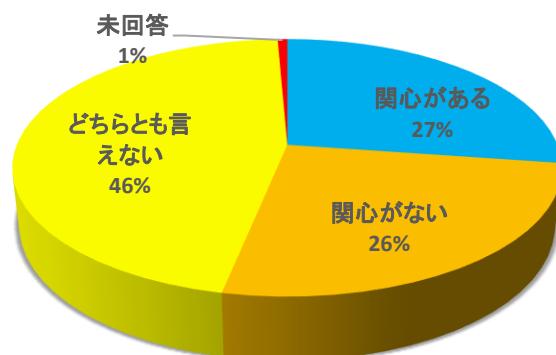


[年代別]



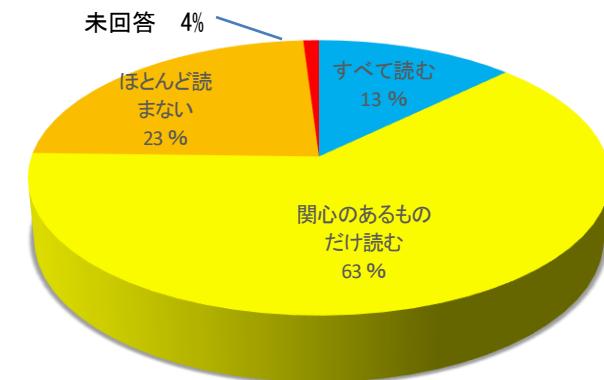
設問2 市議会の活動、広報等について

① 市議会の活動に关心はありますか。(回答は一つ)



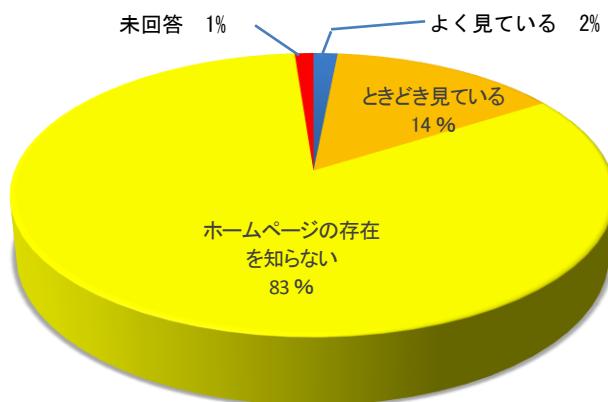
関心があるとないは、拮抗し、どちらとも言えないが46%で約半数が判断しかねるとの状況でした。

② 市議会報「こんにちは須坂市議会です」を読んでいますか。(回答は一つ)



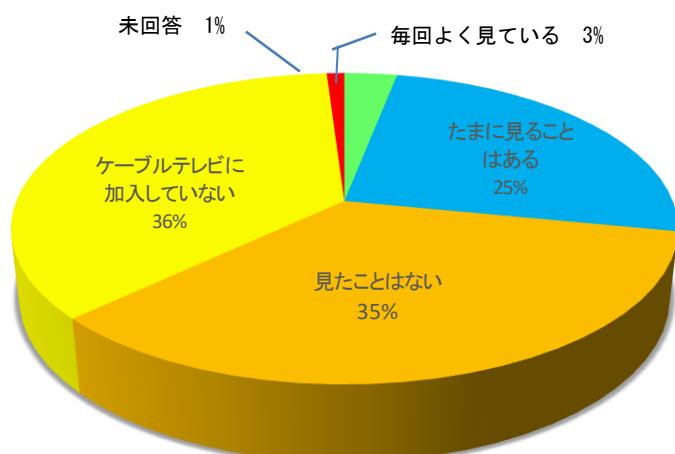
関心のあるものだけ読むが約6割で、7割以上の方が目を通されているとの結果でした。
市議会の情報をお知らせするため、一層紙面の充実に努めます。

③ 議会のホームページをご覧になったことはありますか。(回答は一つ)



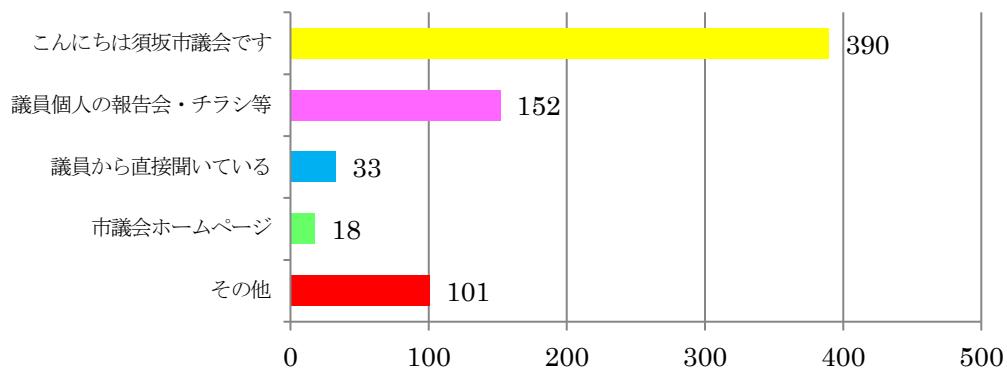
ホームページがあること自体を知らない方が約8割あり、見ておられる方は16%でした。

④ 市議会一般質問のケーブルテレビ中継（録画を含む）を見たことがありますか。(回答は一つ)



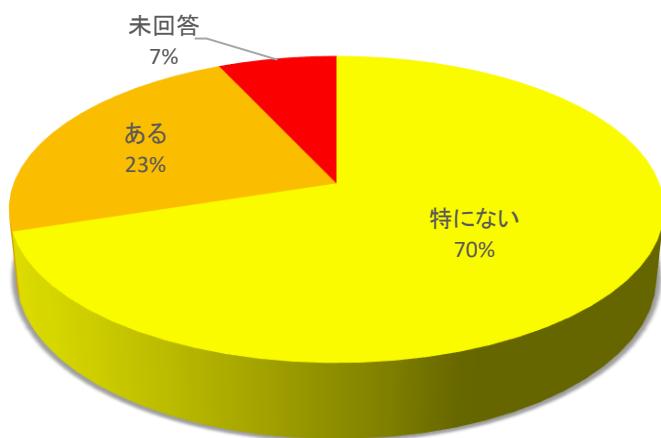
見たことがある方は、60%であり、ケーブルテレビに加入されていないご家庭も36%ありました。
今回は、ネット配信については、お聞きしませんでしたが、現在インターネットによる本会議の動画配信（録画）についても行っております。

⑤ 議会や議員の活動状況などの情報をどこから得ていますか。（複数回答）



市議会報、議員個人の報告会・チラシ等が多く、議員から直接、市議会ホームページが少ない結果でした。その他は、新聞、テレビ等からと思われます。

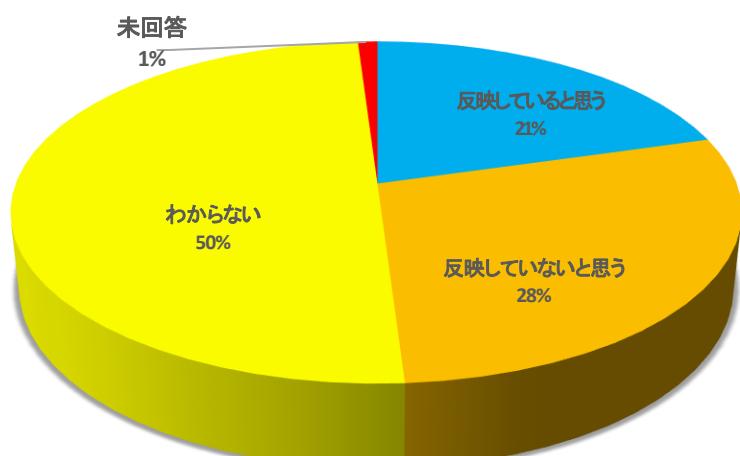
⑥ 市議会の活動に望むことはありますか。



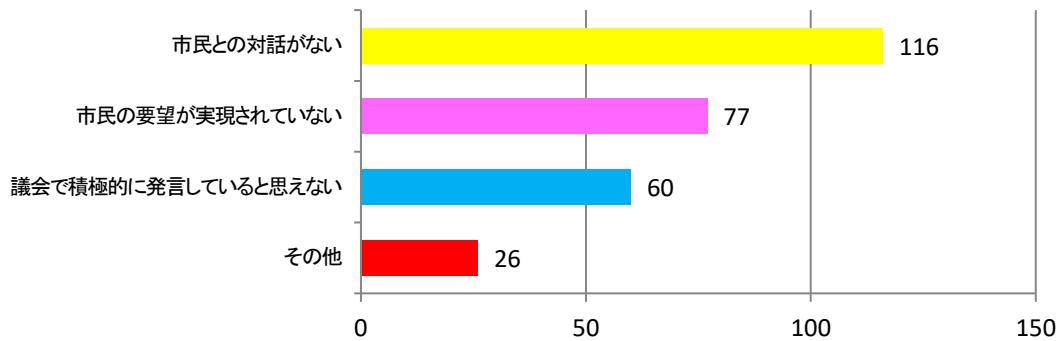
あると回答された方が 23% (137 人) おられました。いただきましたご意見は、自由記述のまとめ (1 ~7 ページ) にありますので、ご覧ください。

設問3 市議会議員に関して

① 議員が、市民の代表として市政に市民の声を反映していると思いますか。（回答は一つ）

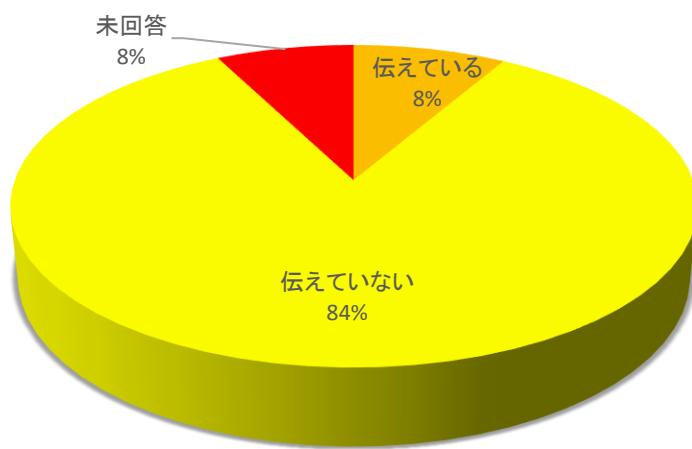


◇ 「反映していないと思う」を選択された方の理由（複数回答）

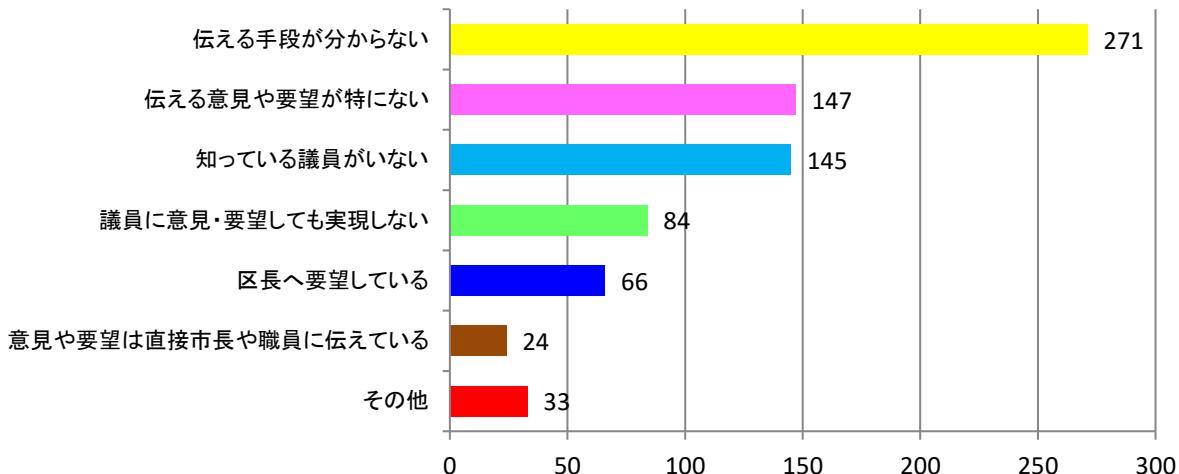


その他を選択された方からいただきましたご意見は、自由記述のまとめ（8、9ページ）にありますので、ご覧ください。

② 議員に自分の意見や要望を伝えていますか。

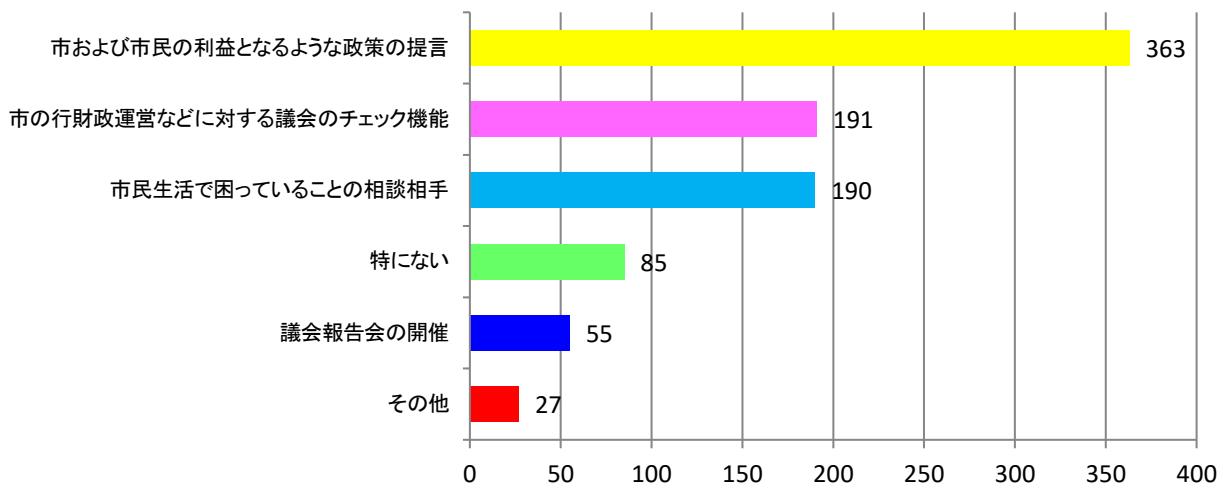


◇ 「伝えていない」を選択された方の理由（複数回答）



その他を選択された方からいただきましたご意見は、自由記述のまとめ（10、11ページ）にありますので、ご覧ください。

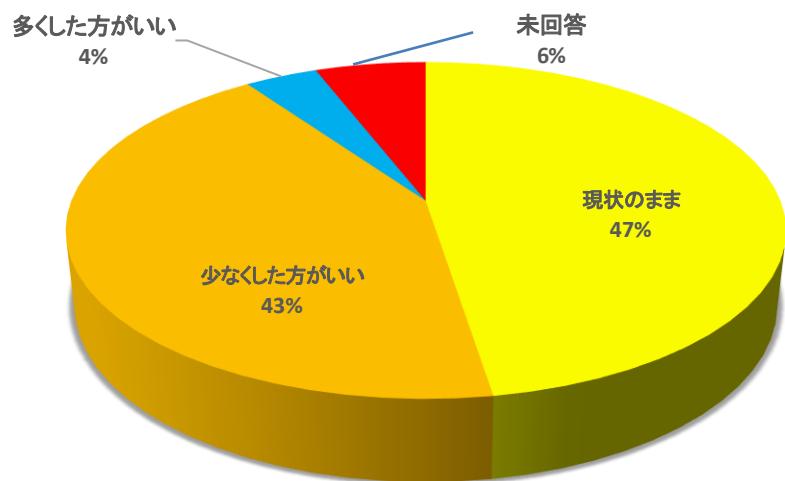
③ 今の市議会議員に望むことはありますか。（複数回答）



その他を選択された方のご意見は、自由記述のまとめ(12、13 ページ)にありますので、ご覧ください。

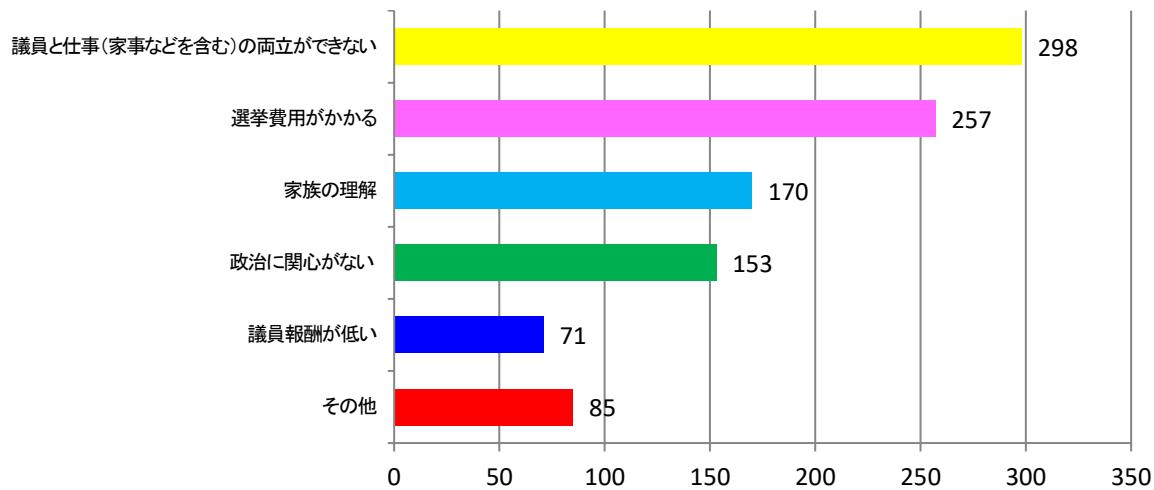
設問4 市議会議員のなり手不足について

① 議会による健全な審議や市政のチェック機能を今後も継続していくため、議員定数が何人が良いと思いますか。その理由も記入ください。（回答は一つ）



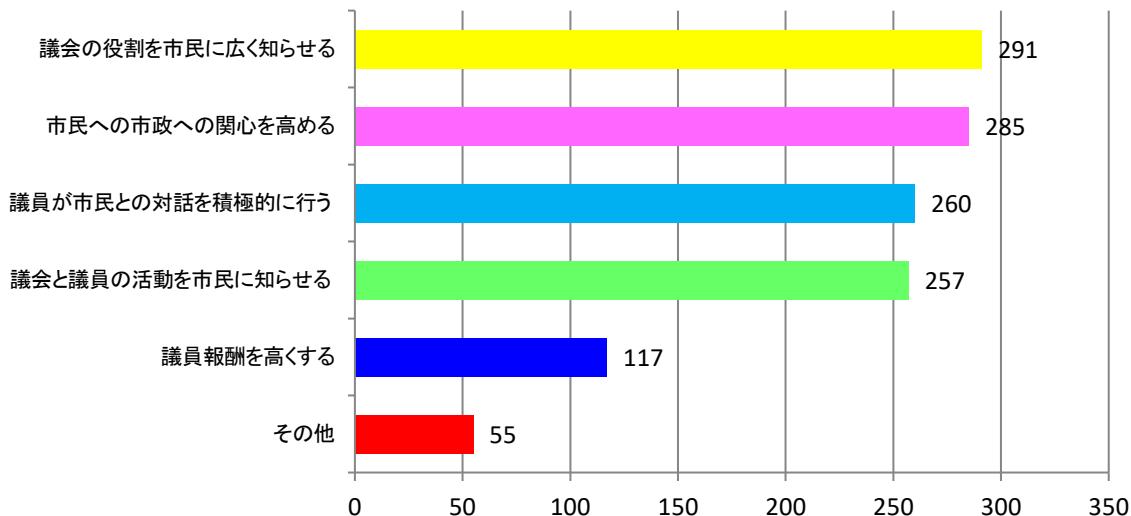
回答された理由についてのご意見は、自由記述のまとめ(14～23 ページ)にありますので、ご覧ください。

- ② 近年多くの市町村議会議員選挙で無投票になり、議員のなり手不足が深刻化しております。あなたが立候補するには何が障害になりますか。（複数回答）



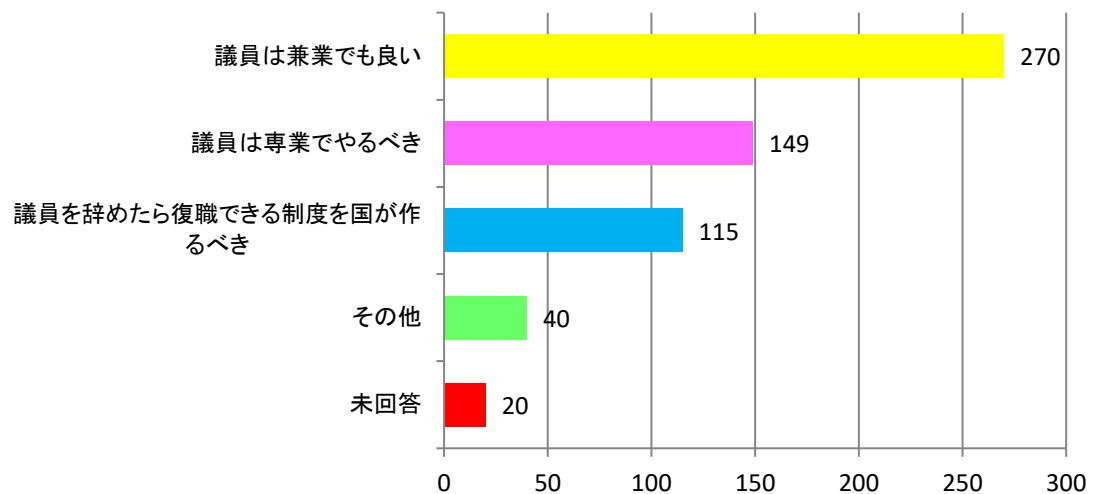
その他と回答された方のご意見は、自由記述のまとめ（24～26ページ）にありますので、ご覧ください。

- ③ 議員のなり手不足の問題は、今後、どの市町村でも予想されます。今後も議会制度を維持していくためには、どうしたらよいと思いますか。（複数回答）



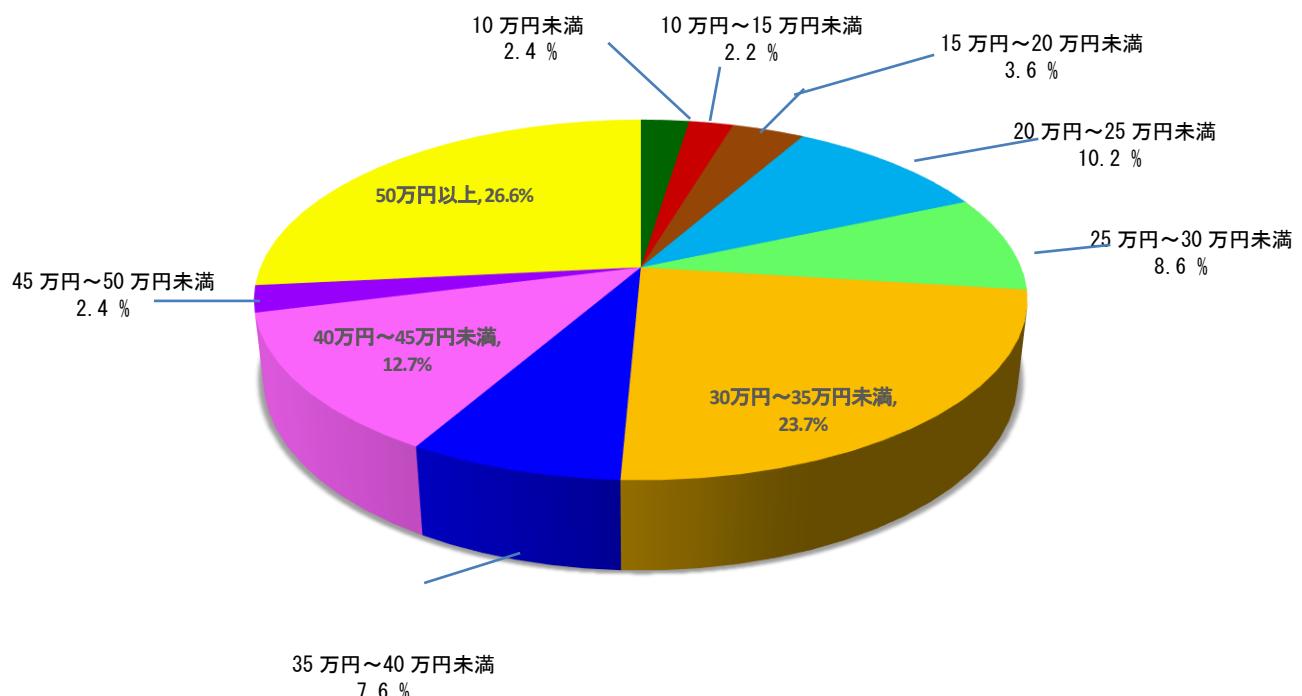
その他と回答された方のご意見は、自由記述のまとめ（27～29ページ）にありますので、ご覧ください。

④ 会社員等をしながら議員をすることについて、あなたはどのように考えますか。（回答は一つ）



その他と回答された方のご意見は、自由記述のまとめ（30、31ページ）にありますので、ご覧ください。

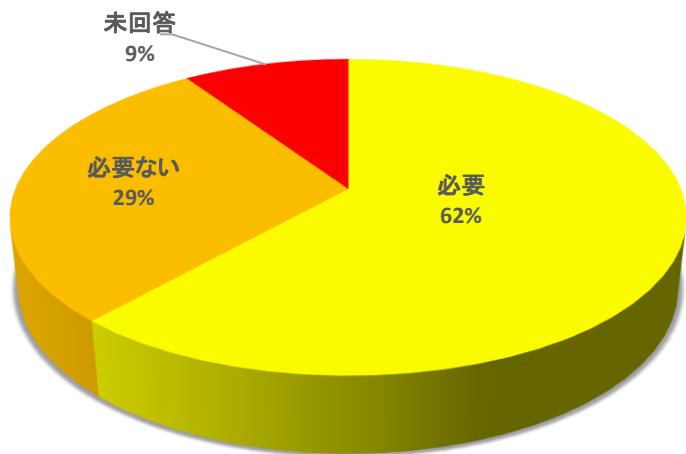
⑤ あなたが議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらいが必要ですか。（金額を記載）



今現在の須坂市議会議員の報酬月額は、358,700円ですが、ご家族を扶養し、生計を立てていくことや設問4の①や③で定数を減らし報酬を上げると記述回答された方などが高い月額報酬を回答されたと思われます。

※市議会報は、紙面の都合上10万円単位の集計としてありますが、ホームページは5万円単位の集計としてあります。

- ⑥ 議員には独自の年金制度はありません。厚生年金に加入する制度は、必要だと思いますか。



設問5 市議会、市議会議員に対するご意見がありましたら自由に回答用紙に記入ください。

いただきましたご意見については、自由記述のまとめにあります。200件（人）の方から貴重なご提言、ご意見をいただきましたので、32～48ページをご覧ください。

【おわりに】

このたびのアンケート調査で、設問2市議会の活動、広報について、市議会報「こんにちは須坂市議会」は、議会活動を知る重要な情報源である一方、ホームページは知らない、見たことがないなどのご意見を多くいただきました。

市議会報の一層の紙面充実に努めるとともに、市議会や市議会議員の活動内容を多くの市民の皆様に知っていただけるよう、広報の方法も含め検討を進めてまいります。

設問3の市議会議員に対してや設問4のなり手不足についての中で、直接市議会議員と意見交換する機会を設けて欲しい、積極的な議員活動を望むなどの意見を多数いただきました。

どのようななかたちで市民の皆様と市議会議員とが意見交換を有意義に行うことができるか開催の単位や持ち方などについて市議会議員選挙の課題等検討特別委員会で検討を重ね、実施に向けて取り組みを行ってまいります。

法律の改正なども含め、国に要望が必要な事項や県議会、他市町村議会とも一緒になって検討を進めていかなければならない事項もありますので、これらについても意見交換や全国市議会議長会などへも要望活動などの取り組みについても検討してまいります。

最後に、本アンケートにご協力いただきました市民の皆様に厚く御礼申し上げます。

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会開催経過

	開催日等	内 容	備 考
	2019. 3. 22	市議会議員選挙の課題等検討特別委員会の設置（本会議）	
1	2019. 3. 22	1 委員長の互選について 2 副委員長の互選について 3 閉会中の継続調査の申出について	
2	2019. 4. 24	1 検討課題項目等について 2 今後のスケジュール（進め方）について [委員会として、市民アンケート実施を決定]	他市等の事例、H29.7 地方議会・議員に関する研究会報告書などを検討
3	2019. 5. 27	1 アンケートについて 2 市民との懇談会について	他のアンケートを参考に意見交換、検討
4	2019. 7. 3	1 アンケートの内容について 2 アンケートの実施方法について	他市の事例、市民総合意識調査などを参考、検討
5	2019. 8. 21	1 アンケートの質問事項について	各会派で素案提出、他市のアンケート参考
		9月定例会で、アンケート調査関連予算を補正計上・可決	
6	2019. 9. 25	1 アンケートの質問事項について 2 今後のスケジュール、封入作業等について [最終案決定]	素案検討、市民総合意識調査内容参考
	2019. 10. 24	アンケート封入、封かん作業	
7	2019. 12. 6	1 特別委員会中間報告について 2 閉会中の継続調査申出について	
8	2020. 2. 10	1 委員長の互選について 2 アンケート集計結果について（報告）	
9	2020. 3. 26	1 アンケート集計結果の広報掲載原稿について 2 アンケート集計結果のホームページ掲載原稿について 3 今後の進め方について	広報掲載原案 ホームページ自由記述の取扱いについて
10	2020. 4. 16	1 アンケート集計結果の市議会報原稿について 2 アンケート集計結果のホームページ原稿について 3 今後の進め方について	広報掲載原稿（業者第1校） ホームページ掲載原稿（案）
11	2020. 5. 21	1 アンケート結果を受けての今後の検討課題及び取組について	
12	2020. 8. 4	1 検討課題及び取組について (1)広報の充実について（SNSの活用など） (2)市民との意見交換会について (3)その他検討課題について	

13	2020.10.16	1 検討課題及び取組について (1)広報の充実について (SNS を活用しての具体的な運用方針など答申に盛り込むべき内容について) (2)市民との意見交換会について (3)その他検討課題について 2 中間答申について	
14	2020.12.14	1 特別委員会中間報告について 2 閉会中の継続調査申出について	
15	2021. 1. 6	1 特別委員会中間答申（案）について 2 議員報酬、定数について 3 選挙費用（選挙カー、ポスター、公費負担の拡充など）について	
	2021. 1.15	中間答申書の提出	正副議長室
16	2021. 2.10	1 委員長の互選について 2 アンケートの集計結果について	任期折り返しに伴う委員選任、正副委員長互選
17	2021. 4.27	1 市議会議員の SNS を活用した情報発信の基本的考え方について 2 検討項目とスケジュールについて	
	2021. 6. 5	須坂市議会アカウントによる SNS (ツイッター、フェイスブック) 発信開始	
18	2021. 6.28	1 議員定数と報酬について 2 選挙に係る経費の低減策について 3 今後の検討項目について	
	2021. 8. 1	こんにちは須坂市議会です第 166 号から「教えて！議会のこと」掲載開始	
19	2021. 8.24	1 検討項目の意見集約について 2 区長会役員との意見交換会について	
	2021. 9.24	検討課題に対する議員意見照会	
20	2021.10. 6	須坂市區長会役員との意見交換会の開催	議会第 4 委員会室
21	2021.12.10	1 市議会議員選挙の課題等検討特別委員会中間報告について 2 閉会中の継続審査の申出について	
22	2022. 1.19	1 検討課題等に関する意見について 2 最終報告の方向性について	
23	2022. 3. 4	1 最終報告に向けた検討	最終報告たたき台に対する意見交換
	2022. 3.18	報告書の提出	議会第 4 委員会室

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会委員名簿

2019. 3. 22 から

委員長 岩田 修二	副委員長 塩崎 貞夫
荒井 敏	堀内 章一
水越 正和	宮本 泰也
岡田 宗之	酒井 和裕
浅井 洋子	竹内 勉

2020. 2. 10 から

委員長 酒井 和裕	副委員長 塩崎 貞夫
荒井 敏	堀内 章一
水越 正和	宮本 泰也
岡田 宗之	浅井 洋子
竹内 勉	霜田 剛 2020.12.14～

2021. 2. 10 から

委員長 霜田 剛	副委員長 宮本 泰也
牧 重信	堀内 章一
古家 敏男	水越 正和
久保田 克彦	中島 義浩
佐藤 壽三郎	

市議会議員選挙の課題等検討特別委員会報告書

2022年（令和4年）3月

長野県須坂市大字須坂1528番地1 須坂市議会事務局

電 話：026-245-1400（026-248-9014直通）

E-mail：s-gikaijimukyoku@city.suzaka.nagano.jp